

「A」次の文の（訳）の「」に入る語句として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

1 霧いと深くたちわたれり。（源氏物語）

（訳）霧がたいそう深く「」立ちこめている。

① 近くに ② 遠くに ③ 一面に ④ 自然に

2 行ひをだにせむ。（大和物語）

（訳）せめて「」だけでもしよう。

① 行ってみる ② お礼 ③ 仏道の修行 ④ よいこと

3 馬にてもものせむ。（源氏物語）

（訳）馬で「」う。

① 行こ ② 送ろ ③ 帰ろ ④ 走ろ

4 心ざし深かりける人、行きとぶらひけるを、正月の十日ばかりのほどに、ほかに隠れにけり。（伊勢物語）

（訳）（ある女への）愛情が深かった男が、（女の所へ）行って「」たのだが、正月十日あたりのころ

に、（女は）よそに姿をかくしてしまった。

① 捜し ② 確かめ ③ 帰っ ④ 訪れ

5 郎等までに物かづけたり。（土佐日記）

（訳）従者にいたるまでに物を「」た。

① 与え ② 預け ③ いただい ④ 片づけ

6 宮の御前、母北の方、帥殿、一つに手を取りかはして惑はせたまふ。（栄花物語）

（訳）宮の御前（＝中宮定子）、（帥殿たちの）母である北の方、帥殿（の三人）は、手を取り合って「

」なさる。

① 思い悩み ② とまどい ③ 途方に暮れ ④ あきらめ

7 寛大にして極まらざる時は、喜怒これにさはらずして、物のためにわづらはず。（徒然草）

（訳）心が広く大らかで狭く限ることがないときは、喜怒の感情が邪魔となることなく、物事のために「

」ない。

① 興奮し ② 思い悩ま ③ 変節し ④ 勘違いし

8 何といふにか、唇はたらく。（宇治拾遺物語）

（訳）何と言っているのだろうか、唇が「」。

① 動く ② 見える ③ 痛む ④ 表す

「B」次の文の（訳）の「」に入る語句を答えよ。

9 翁を、いとほし、かなしと思しつることも失せぬ。（竹取物語）

（訳）（かくや姫は、天の羽衣を着ると）翁を、気の毒だ、かわいそうだとお思いになっていたことも（心か

ら）「」てしまった。

10 我をばいづちへ具して行かむとするぞ。（平家物語）

（訳）私をどこに「」て行こうとするのか。

11 子三人を呼びて語りけり。二人の子は、情けなくいらへてやみぬ。（伊勢物語）

（訳）子三人を呼んで話をした。二人の子は、そっけなく「」て終わった。

11 「」

12 御衣ひきかづきて臥し給へり。（源氏物語）

（訳）（掛けてある）お召し物をひき「」て寝ておしまいになる。

12 「」

解答

【新三年生用】 古文単語383訂版 P80～P87

- | | | | | | | | | | | | |
|-------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 〔かぶつ〕 | 〔答え〕 | 〔連れ〕 | 〔消え〕 | 〔①〕 | 〔②〕 | 〔③〕 | 〔①〕 | 〔④〕 | 〔①〕 | 〔③〕 | 〔③〕 |